

中央トピックス

カラオケボックス緊急点検結果 41.6%で違反

国交省

国土交通省が、各都道府県に依頼してまとめたカラオケボックスの緊急点検結果によると、2月16日までに報告があった建築物6279件のうち、41.6%に当たる2610件が建築基準法令に違反していた。2539件に是正指導したが、改善は今のところ87件にとどまっている。

1月20日に兵庫県宝塚市のカラオケボックスで火災が発生し、死傷者が出たことを受け、都道府県（管内特定行政庁にも周知依頼）に建築確認申請などの手続きがされていない物件も含め、点検結果を報告するよう求めている。

来月27日までモデル市町村募集

国交省

国土交通省は、住民参加型の「みなど賑わい創出担い手育成支援事業」のモデル市町村を、4月27日まで募集している。5月末ごろに10市町村程度を選定する。

港の景観などを活用した住民参加による「みなどまちづくり」によって、にぎわい拠点（祭り、フリーマーケット、情報の発信、環境形成など）を形成し、地域を活性化させるのが狙い。

詳細は港湾局（<http://www.mlit.go.jp/kowan/>）のホームページに掲載。

専攻建築士2098人を認定

士会連合会

日本建築士会連合会の専攻建築士認定評議会（義和夫議長）は7日、31建築士会（士会）から申請のあった2098人を専攻建築士制度に基づく「専攻建築士」として認定した。埼玉、和歌山の2士会からの認定は初めてで、専攻建築士の総数は1万2492人となった。茨城士会を除く46士会が制度の運用を開始。

運用主体は各建築士会で、審査評議会が実務・研修実績などを審査し、最終的な認定は本部認定評議会が行う仕組みとなっている。

実務者の立場で問題点指摘

J S C A

日本建築構造技術者協会（J S C A、大越俊男会長）は、改正建築基準法の告示案に対する意見書を国土交通省に提出した。構造計算適合性判定（適応）の対象となる建築物について、告示案が「常人には理解できない構成になっている」とし、分かりやすい表現に改めるよう要望。構造計算の方法についても、実務者の立場から多くの問題点を指摘した。

告示案は6月に施行を予定する改正建築基準法の技術的基準などを規定するもの。

当面の対策は、「入札談合等関与行為の排除及び防止に関する法律」に基づく改善措置要求を踏まえ、直ちに実施すべき国交省の「当面の対策」をまとめた。

「入札方式の改善」のうち、現行2億円以上となっている一般競争入札の対象工事については、19年度中に1億円以上に拡大するほか、20年度中に6000万円以上の工事にまで広げる。

次官（委員長、安富正文事務次官）での検討を基にまとめたもの。

ポイントは①コンプライアンスの徹底②競争性の向上のための入札方式の改善など③ペナルティーの強化④再就職の見直しの4点。

一般競争入札は災害復旧や小規模工事を除き、段階的に適用範囲を広げる。今後、19年度中に1億円以上、20年度中に土

木建築工事の発注標準「Cランク以上」に当たる6000万円の案件にまで拡大する。水門設備工事については19年度当

冬柴大臣がコメント

冬柴鉄三国土交通大臣は8日、水門設備工事に

関連し、国交省が公正取引委員会から国の機関として初めて改善措置要求を受けたことに対し、「極めて遺憾であり、誠に懲愧

（さんぎ）に堪えない」とし、同日まとめた談合防止対策の速やかな実施と不正行為の防止の徹底を約束

（さんぎ）に堪えない」とし、同日まとめた談